有休

◆有休_機能拡張

NO	詳細	V5	対応内容	機能	内容
070_0001		○	機能拡張	有休喪失処理	抽出条件の未就業期間と、抽出結果の最終就業日の判定条件に、出勤区分を追加する
070_0002	○	○	機能拡張	有休付与予約処理	有休付与予約処理の算出について、ダブルワークを考慮した算出に対応する。 ・「年間所定労働日数」が同一日複数就業先（ダブルワーク）でのカウントを「1日」とする。 ・年間所定労働日数の集計を「所定労働時間」に変更する。
070_0003			機能拡張	有給単価更新処理	有給算出方法「平均賃金(三カ月)」の場合、給与に該当しない手当（※）を除外して「暦日平均」「就業日数平均の6割」を計算する。 （※）課税区分「非課税」、基礎単価算出「しない」、社保算定区分「しない」、固定給与区分「しない」、雇保対象区分「しない」の手当
070_0004		○	仕様変更	有休単価更新処理	「暦日平均」「就業日数平均の6割」の日数・給与額算出で「特休」を除外する。
070_0005		○	機能拡張	会社マスタ、有休関連	会社マスタに設定を設け、有給消化を繰り越し分ではなく、付与分から行えるようにする。 **有休管理してない（勤怠で有休を使用していない）場合のみ、変更が可能です。** ※既に有休管理のデータが存在しているユーザ様で設定変更をご希望される場合は、CSサクセスサポートまでご連絡ください。
070_0006		○	機能拡張	会社マスタ 勤怠入力	・有休金額に深夜割増を含めるかどうか切替できるようにする。 ・有休算出方法の文言を変更する。

社保

◆社保_機能拡張

NO	詳細	V5	対応内容	機能	内容
070_0007	○	○	機能拡張	スタッフマスタ 算定入力 算定一括処理 算定・月変保険料更新 月変入力 月変一括処理 月変予定確認表	算定・月変関連の仕様変更

雇保

◆雇保_機能拡張

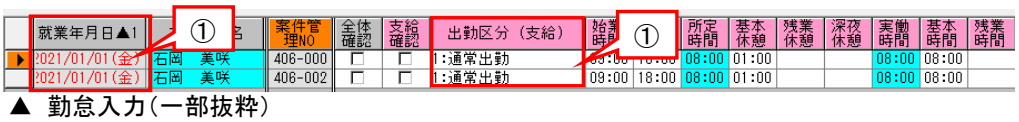
NO	詳細	V5	対応内容	機能	内容
070_0008	○		雇用保険	雇用保険被保険者資格取得届 雇用保険被保険者資格喪失届	雇用保険被保険者資格喪失・氏名変更届の廃止に伴い、 機能名を「雇用保険被保険者資格喪失届」へ変更する。 「雇用保険被保険者資格取得届」と「雇用保険被保険者資格喪失届」の様式変更に対応する。
070_0009	○		雇用保険	雇用保険離職証明書	以下に対応する ・新様式に対応する。（離職理由欄が平成25年4月1日に変更されている） ・日数や給与額など、月給、月額手当に対応する。 ・複数履歴で退職日が存在する場合、エラーになる件に対応する。 ・退職日＜給与締日の場合、支給額が反映されない件に対応する。
070_0010		○	機能拡張	雇用保険離職証明書	基礎日数に出勤区分1～10を含める。

フィーチャーフォンにつきましては、キャリアによって順次使用できなくなります。
そのため、フィーチャーフォン上でのASP新機能につきましては動作が保証できかねますので、予めご了承ください。
ご利用いただいているバージョンによって、一部すでに実装されている機能も含まれております。ご了承ください。

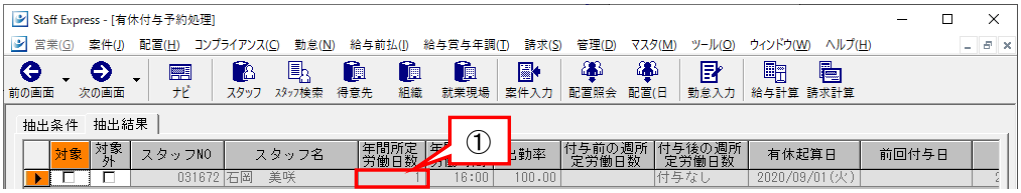
NO	070_0002
内容	有休付与予約処理の算出について、ダブルワークを考慮した算出に対応する。 ・「年間所定労働日数」が同一日複数就業先（ダブルワーク）でのカウントを「1日」とする。 ・年間所定労働日数の集計を「所定労働時間」に変更する。

◎ 有休付与予約処理の以下の項目について対応します。

① 同一日の勤務で出勤区分に「通常出勤」「特休」「有休」「欠勤」が含まれている場合、
同一日複数就業先に勤務している場合でも、「年間所定労働日数」のカウントを「1日」とします。

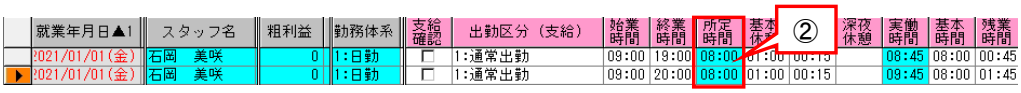


▲ 勤怠入力（一部抜粋）

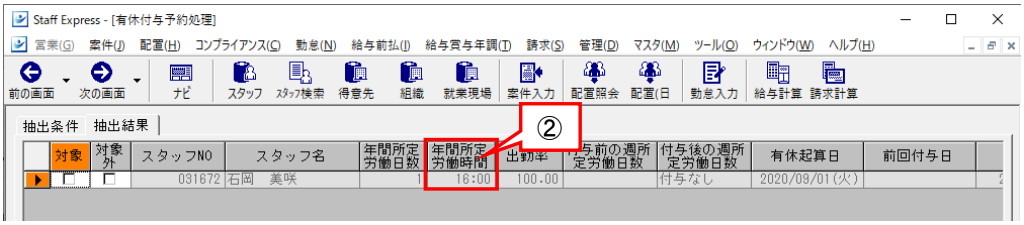


▲ 有休付与予約処理（一部抜粋）

② 「年間所定労働時間」の集計を「実働労働時間」の合計から「所定労働時間」の合計に変更します。



▲ 勤怠入力（一部抜粋）



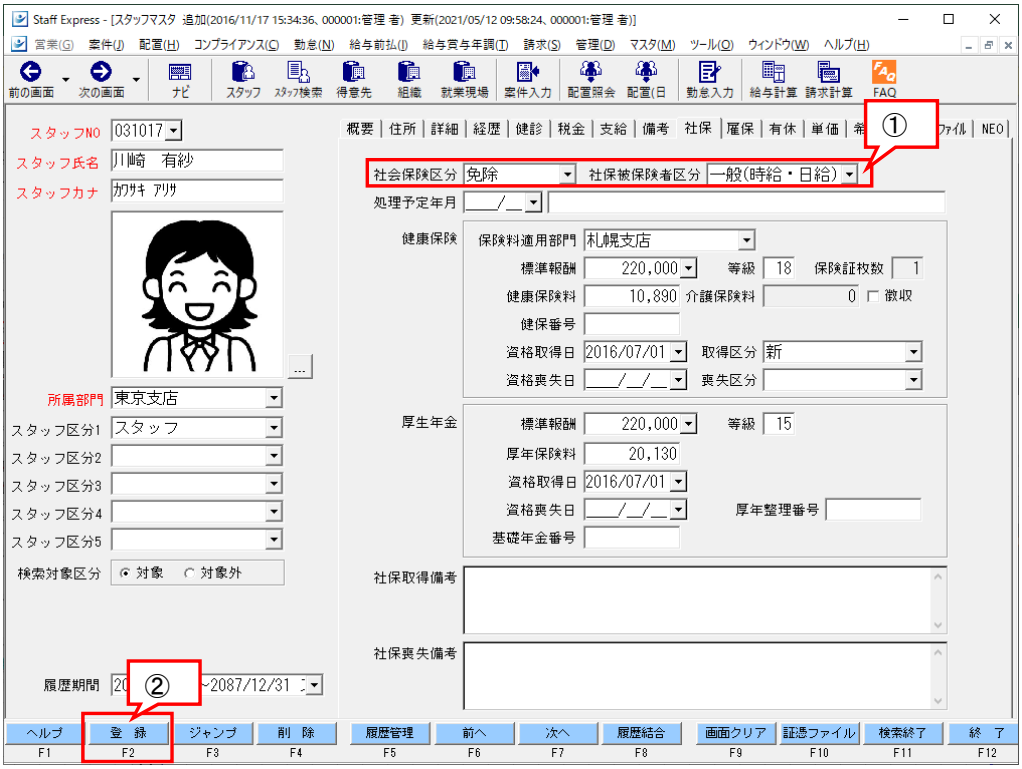
▲ 有休付与予約処理（一部抜粋）

▼ 関連機能
・ 有休付与予約処理

NO	070_0007
内容	算定・月変関連の仕様変更

◎　算定・月変関連の仕様変更

[1]「社会保険区分：免除」の場合も算定の対象とする
　①「社会保険区分：免除」の場合、「社保被保険者区分」を活性とし、選択可能とする。
　②　社会保険区分が「対象」もしくは「免除」の場合、「社保被保険者区分」の登録を必須とする。

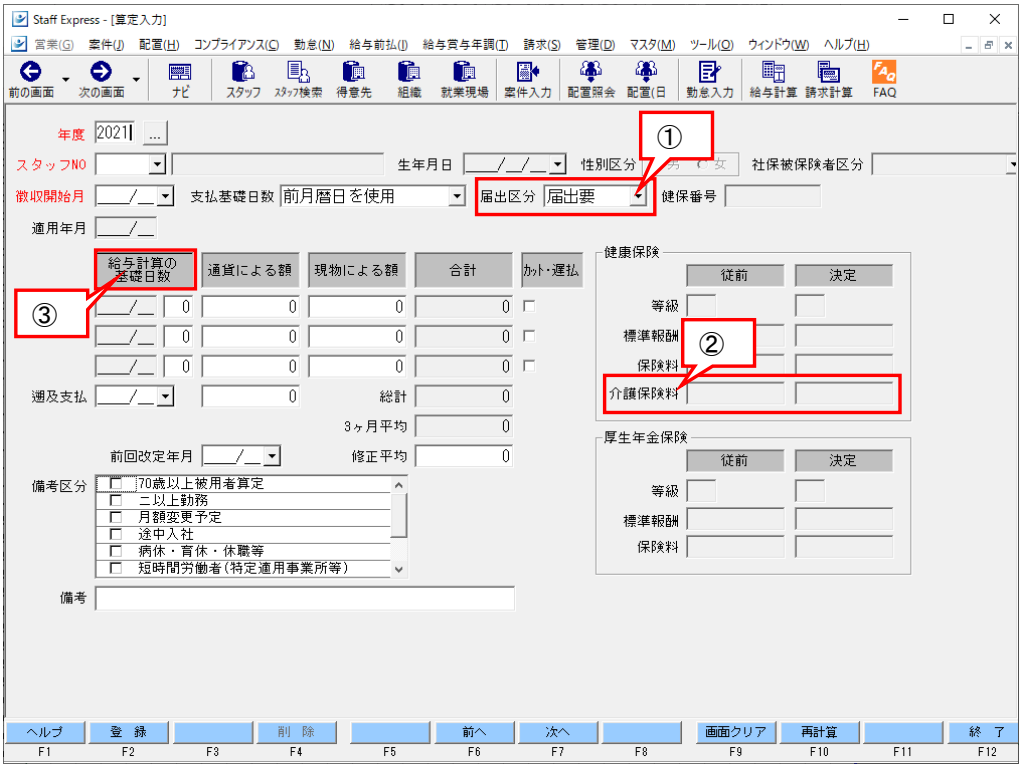


算定処理が必要なスタッフは、スタッフマスタで「社保被保険者区分」の整備をお願いいたします。

NO	070_0007
内容	算定・月変関連の仕様変更

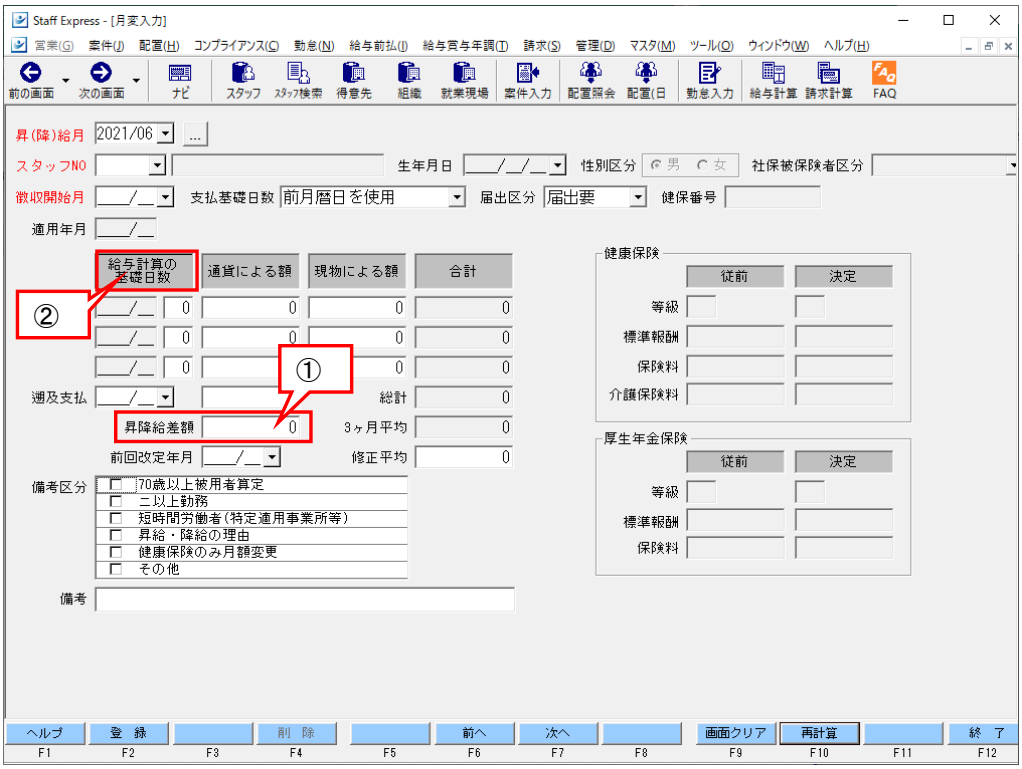
[2] 算定入力

① 項目名「社保区分」を「届出区分」に変更
② 項目名「介護保険」を「介護保険料」に変更
③ 2行の表示に変更



NO	070_0007
内容	算定・月変関連の仕様変更

[3] 月変入力
① 「昇降給差額」の判定チェックを無くし、いかなる場合でも手入力可能とする。
③ 2行の表示に変更



「昇降給差額」は今まで「基本給＋支給項目(固定的賃金：する)」で判定チェックを行っていたため、
スタッフの時給単価変更があった場合でも月変入力が登録できない等がありました。
判定チェックを無くし、どの条件でも「昇降給差額」が入力可能となることにより、
これまでに登録できなかった月変入力のデータを登録することが可能となりました。

[4] 月変予定確認表
① 「月変予定確認表」を削除
⇒ 「月変予定確認表」と「月変一括処理」を統合するため、削除する。

「月変予定確認表」で確認していたものは、今後「月変一括処理」で条件を絞り込み、
「抽出結果」タブで確認をしてください。

NO	070_0007
内容	算定・月変関連の仕様変更

[5] 算定一括処理、月変一括処理

① 「徴収開始月」に以下制御を追加

⇒ ・ 算定一括処理 ： 年度の8月以降

・ 月変一括処理 ： 昇(降)給月以降

② 「詳細」ボタンを追加

⇒ カーソルが当たっているスタッフの情報を反映させた、算定入力もしくは月変入力画面を表示する。
（下図では、スタッフNo31002が対象スタッフとなる）

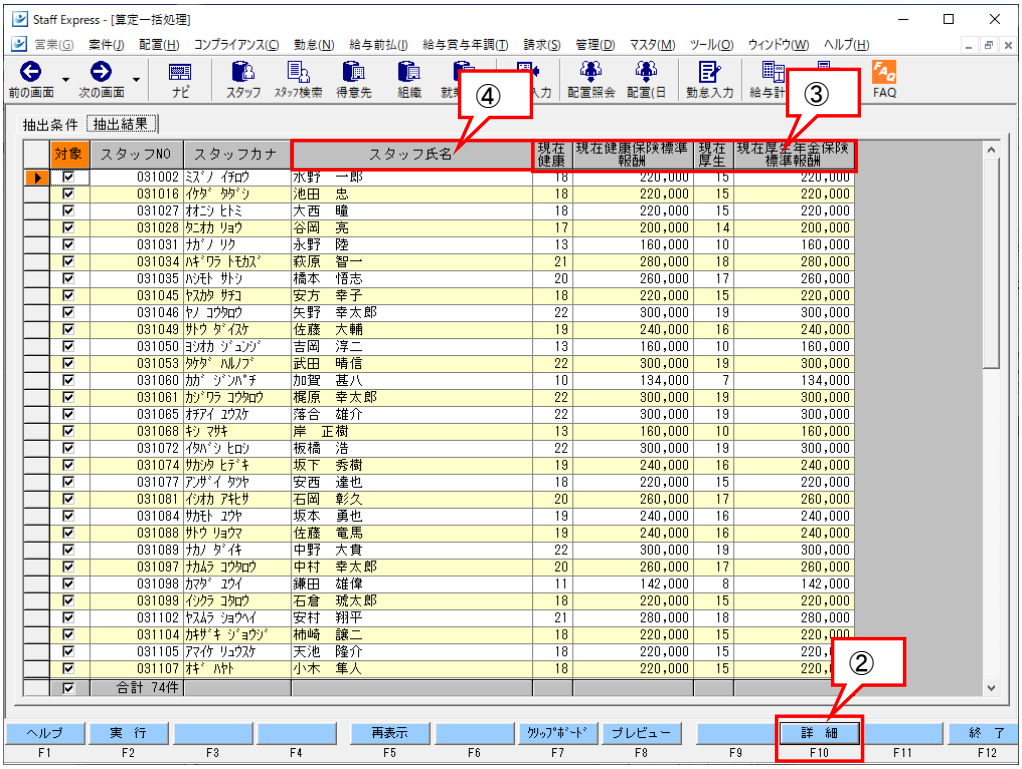
③ [抽出結果]タブ内に以下項目を追加

・ 現在健康保険等級
・ 現在健康保険標準報酬
・ 現在厚生年金保険等級
・ 現在厚生年金保険標準報酬

⇒ [4]に対応にともない、「月変予定確認表」で出力していた項目を追加。

④ 「スタッフ名」を「スタッフ氏名」に変更

※ 「算定検索」「月変検索」も同じく「スタッフ氏名」に変更。



[6] 算定・月変保険料更新

以下ふたつの条件を変更

① [スタッフマスタ]-[社保]タブ-[健康保険：徴収]のチェックON・OFF

② [スタッフマスタ]-[社保]タブ-[健康保険：介護保険料]の更新

⇒ ・ 40歳未満 徴収＝チェックOFF、介護保険料＝0円

・ 40歳以上 徴収＝チェックON、介護保険料＝計算する

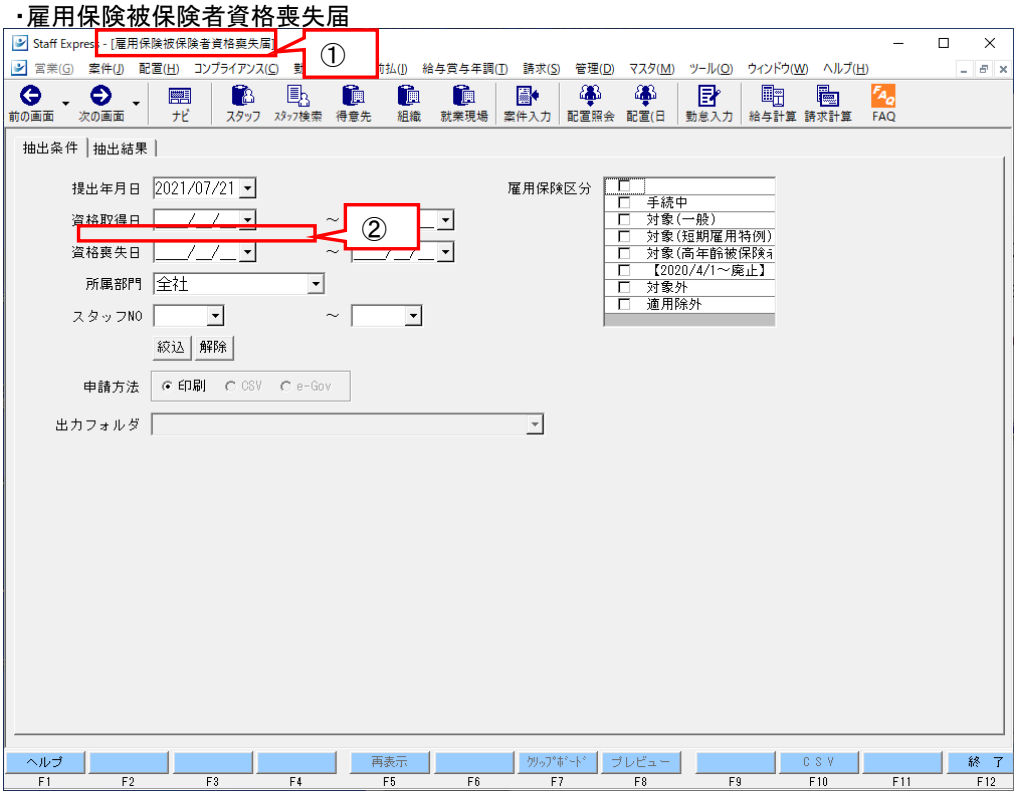
・ 65歳以上 徴収＝チェックOFF、介護保険料＝0円

NO	070_0008
内容	雇用保険被保険者資格喪失・氏名変更届の廃止に伴い、 機能名を「雇用保険被保険者資格喪失届」へ変更する。 「雇用保険被保険者資格取得届」と「雇用保険被保険者資格喪失届」の様式変更に対応する。

◎　標準テンプレートの見直しを行います。
[1]　機能名を「雇用保険被保険者資格喪失届」へ変更します。
[2]　「雇用保険被保険者資格取得届」と「雇用保険被保険者資格喪失届」の様式変更に対応します。

(1)　[1] 機能名、テンプレートの名称を「雇用保険被保険者資格喪失届」へ変更します。

・雇用保険被保険者資格喪失届

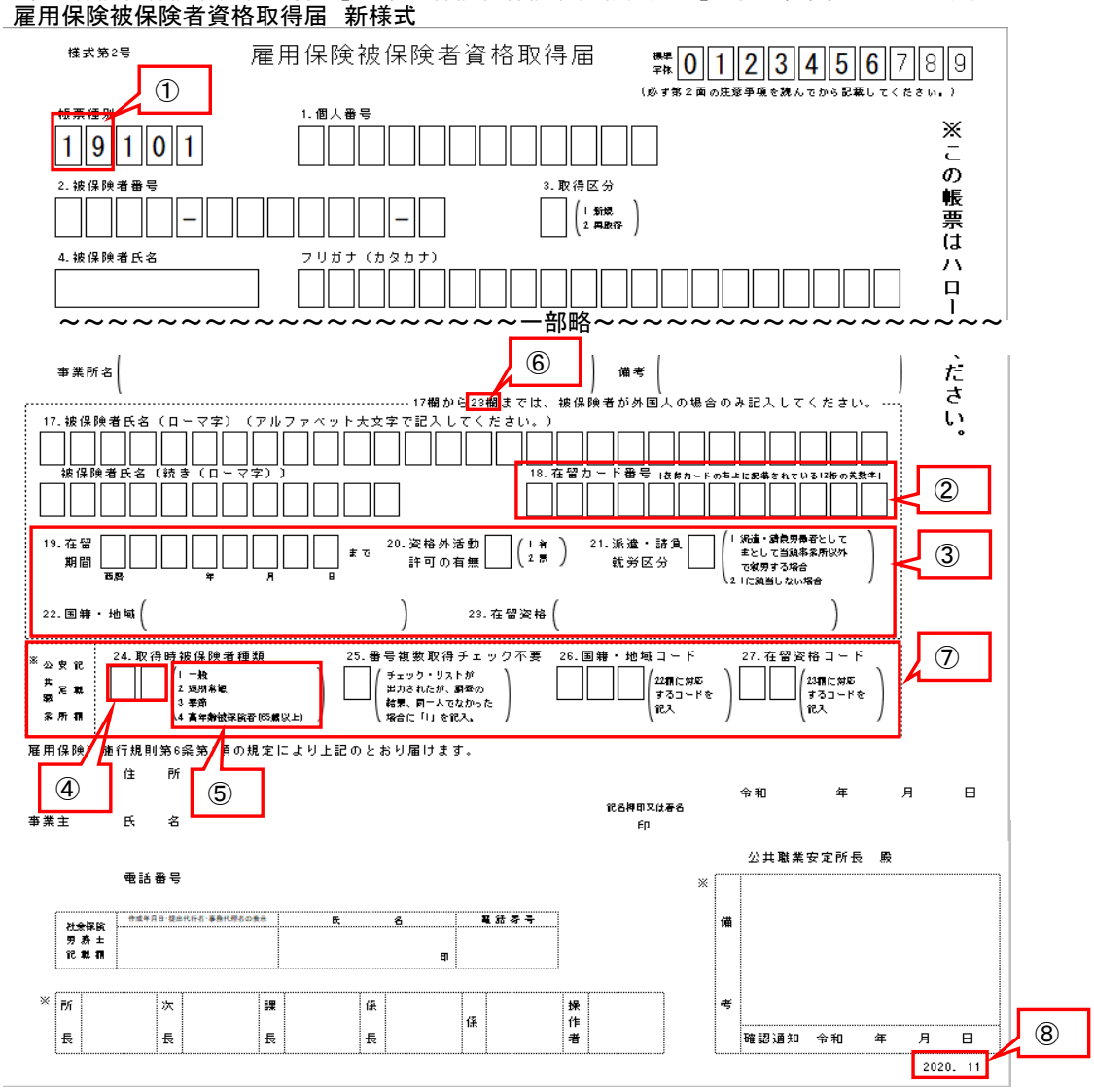


①　機能の名称を[雇用保険被保険者資格喪失・氏名変更届]から[雇用保険被保険者資格喪失届]へ変更します。
②　雇用保険被保険者氏名変更届の廃止に伴い、「出力帳票」の項目を削除します。

NO	070 0008
内容	雇用保険被保険者資格喪失・氏名変更届の廃止に伴い、 機能名を「雇用保険被保険者資格喪失届」へ変更する。 「雇用保険被保険者資格取得届」と「雇用保険被保険者資格喪失届」の様式変更に対応する。

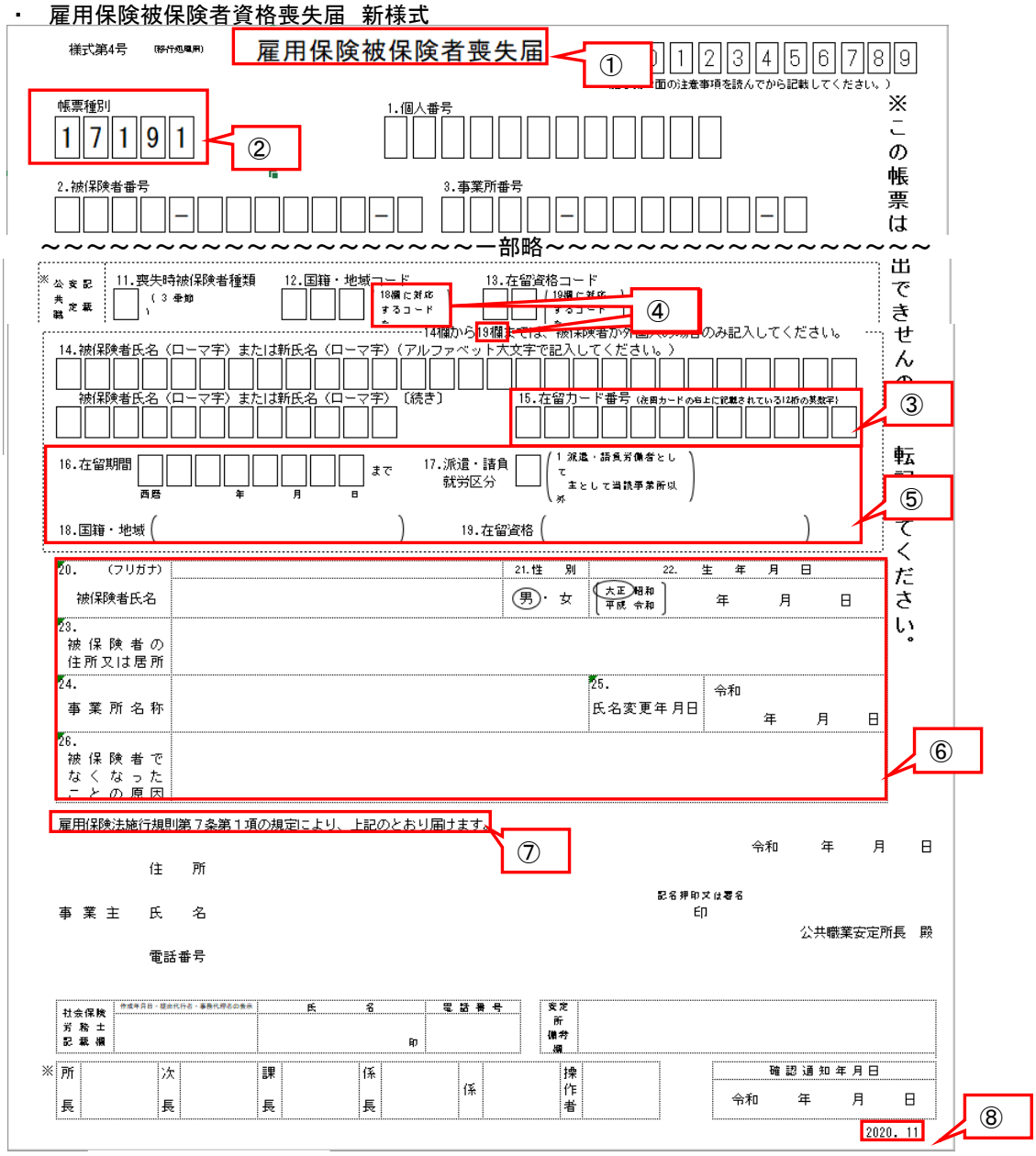
[2]「雇用保険被保険者資格取得届」と「雇用保険被保険者資格喪失届」の様式変更に対応します。

・　雇用保険被保険者資格取得届　新様式


様式第2号
雇用保険被保険者資格取得届
①
1. 個人番号
2. 被保険者番号
3. 取得区分
4. 被保険者氏名
フリガナ（カタカナ）
※この帳票はハローワークに提出してください。
～～～

NO	070 0008
内容	雇用保険被保険者資格喪失･氏名変更届の廃止に伴い、 機能名を｢雇用保険被保険者資格喪失届｣へ変更する。 ｢雇用保険被保険者資格取得届｣と｢雇用保険被保険者資格喪失届｣の様式変更に対応する。

・ 雇用保険被保険者資格喪失届　新様式

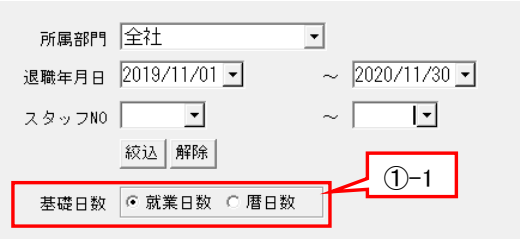


① タイトルを固定文言へ変更します。
② 帳票種別番号を変更します。
③ 在留カード番号の入力欄を追加します。
④ 項目追加に伴い、固定文言を変更します。
⑤ 在留カード番号の追加に伴い、項目16～19の表示位置を変更します。
⑥ 項目追加に伴い、項目数を変更します。
⑦ 固定文言を変更します(｢第14条第1項｣の文言を削除)。
⑧ 固定文言を変更します(年月の変更)。

NO	070_0009
内容	以下に対応する ・新様式に対応する。(離職理由欄が平成25年4月1日に変更されている) ・日数や給与額など、月給、月額手当に対応する。 ・複数履歴で退職日が存在する場合、エラーになる件に対応する。 ・退職日＜給与締日の場合、支給額が反映されない件に対応する。

◎ 雇用保険離職証明書の以下対応を行います。
- 新様式への変更
- 出力条件(基礎日数)の追加
- 給与額の出力内容を変更
- 履歴単位の出力対応
- 退職年月日と給与締日が不一致の場合の出力対応

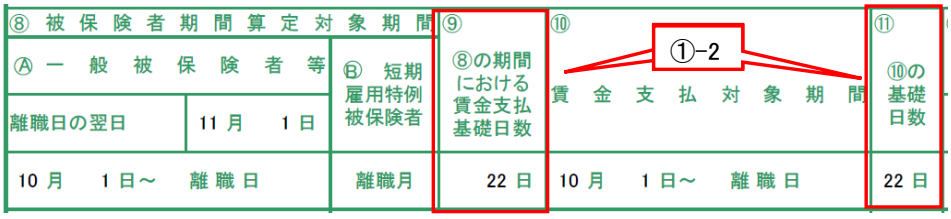
[1] 出力条件の追加



①-1　出力条件に「基礎日数」を追加します。
就業日数　または　暦日数が選択できます。

①-2　選択した基礎日数に応じて、
就業日数　または　暦日数で出力します。

▲雇用保険離職証明書の出力画面



▲雇用保険離職証明書

[2] 給与額の出力について

▲雇用保険離職証明書

②　給与額のA欄、B欄の出力内容を
変更します。

A欄:　月給・月額手当の合計額
B欄:　時給・日給・日額手当の合計額
計　:　A＋Bの合計額

【出力例①】
月給者で22日勤務した場合

給与	250,000	円/月給
手当①	15,000	円/月
手当②	300	円/日

給与額		
A	B	計
265,000	6,600	271,600

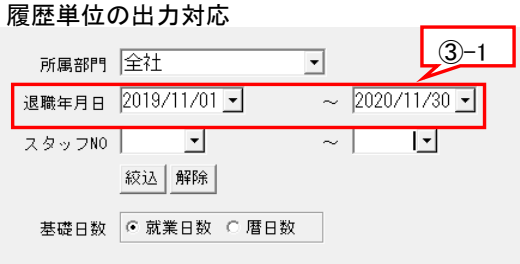
【出力例②】
時給者で22日(日8時間)勤務した場合

給与	1,200	円/時給
手当①	15,000	円/月
手当②	300	円/日

給与額		
A	B	計
15,000	217,800	232,800

NO	070_0009
内容	以下に対応する ・新様式に対応する。(離職理由欄が平成25年4月1日に変更されている) ・日数や給与額など、月給、月額手当に対応する。 ・複数履歴で退職日が存在する場合、エラーになる件に対応する。 ・退職日＜給与締日の場合、支給額が反映されない件に対応する。

[3] 履歴単位の出力対応



▲雇用保険離職証明書の出力画面

③-1　出力条件に指定した退職年月日内に、複数の履歴(退職年月日あり)が存在する場合、履歴毎の雇用保険離職証明書を出力します。

③-2　出力したExcelファイルのシート名は、[スタッフNO(退職年月日)_連番]となります。

▲雇用保険離職証明書(Excel)

履歴単位での出力となりますので、日数や給与は合算されません。

[4] 退職年月日と給与締日が不一致の場合の出力対応

退職年月日と給与締日が不一致の場合、給与支払期間が(～離職日)の場合に、給与額が出力されない場合に対応しました。

▼ 関連機能
- 雇用保険離職証明書

▼ 対応帳票
- 雇用保険被保険者離職証明書.xlsx

▼ 追加・変更される項目

画面名	変更前	変更後
雇用保険離職証明書	(なし)	基礎日数